



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

何？
武士道？

そんな事より金儲けや！
そんな堅苦しい話より、旨い飯食って、
美味しい酒でも飲もうや！

パーツといこう。
パーツと。

私が武士道に興味を持ち、共感してくれる同志を
探し始めた頃に出会った

金儲けありきの経営者達の言葉である。
バブルの時代はこのようなタイプの

経営者がほとんどだった。
金、金、金。

金は確かに大切である。

金がなければ衣食住、どれも不便である。
誰でも今よりいい暮らしがしたいはずだ。
だから金に走る気持ちはよく分かる。

誰でも金が欲しいに決まっている。

思想、哲学や精神論だけでは確かに飯は喰えない。
でも、私が出会った金儲けの為だったら、
人の生き死にまで金に変えるタイプの者達は

必ずと言っていいほど落ちて消えて行った。
いい暮らしをしようと必死に金儲けをし、
大金を掴んだから何でも好きな事をする。

自分で稼いだ金なのだから、
自分が好きなように使って何が悪いんだ。
そう言われたら何も言う事はない。

しかし、世の中とは面白いもので、金がある時は
その金に寄って来る金魚フンやハイエナみたいな人達が
ウロウロしているが、
少しでも雲行きが怪しくなったり、

他の水が甘く見ええた瞬間、サッと消えてしまう。
金がある時は表面的な付き合いか、その金を何とかしよう
と考えている者達ばかりで、
金が無くなった途端、誰もいなくなってしまう。

酷い場合、先程まで友達だと言っていた者や
家族までいなくなってしまうのだ。
結局、何が足りなかったのだろう。

金は使うものなのに、
金に使われていたのではないだろうか？



金儲けは誰からするものなのか。
人だろう。

金が金を産むのではなく、人が金を払うのだ。
人が時間と体を使って金を稼ぐのだ。
人を忘れてはいけない。

人の気持ちを忘れてはいけない。
やはり、人としての生き方や道徳、精神論などが
土台にないと、金儲けをしても金は逃げるし、
人も消えてしまう。

しなければいけない事と、してはいけない事。
それすらも分からずに金儲けだけに時間を費やした者達の
末期は、悪名と虚しさだけが残っただろう。

やはり、精神論だけでは飯は喰えないが、
精神論がないと人はついて来ない。
常にかかりとした精神論を心に持ち、
いかなる苦難でも先頭を切って突き進む行動を
取るリーダーにならなければならない。

あれから数多くの経営者に出会った。
武士道から平成武師道に名も変わり、
ほとんどの人が耳を傾けてくれる様になってきた。

その中から共に学び、行動を共にする人達も出てきてくれた。
十人十色で、それぞれに考えが違って当たり前。
今ではそれが分かるようになってきた。

平成武師道が分かる。分らない。それで良いと思う。
私自身、これからも、とにかく全国中を動き回り、
多くの人達に会い、話しをしていくだけである。
もう一度言う。

精神論では飯は喰えない。しかし、
精神論がないと人はついて来ない。

旨い飯、美味しい酒も悪くない。
ただ、それも年がら年中ではなく、
たまに食べるから美味しい。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。
そう思える気持ちは、大切である。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

全力を尽くした御褒美にまた食べよう。

希哉